

外部評価個票

資料2-5-1

| 事業名 | 良質住宅ストック形成推進事業費 | 開始/終了(予定)年度 | H14 / 未定 | 成果指標及び 成果実績 | 成果指標 | 単位 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和12年度 (最終目標) | | |
|-----------------|---|-----------------------|---------------------|------------------|---------------------------------|---------|-------|-------|-------|-------|-------|------------------|--|--|
| グループ名 | 住宅新築支援 | ①「やまがた省エネ健康住宅」の年間建設戸数 | 実績 戸 82 128 304 259 | | 当初見込み 戸 360 360 360 360 500 500 | | | | | | | | | |
| 部局・担当課名 | 県土整備部 建築住宅課 | ② | 実績 | | 当初見込み | | | | | | | | | |
| 創設背景 (課題) | 夏暑く冬が寒い本県の気象状況にあって、冬季のヒートショックをはじめとする健康リスクや、冷暖房費などの光熱費が、住宅における大きな課題である。 | ③ | 実績 | | 当初見込み | | | | | | | | | |
| 事業の目的 | 省エネ効果が高く、ヒートショックによる事故や各種疾患の防止にもつながる一定の高気密・高断熱性能を有する住宅を「やまがた省エネ健康住宅」として認証し支援することで、高気密・高断熱の住宅の普及及び県産木材の普及や利用促進を図り、カーボンニュートラル社会実現に寄与するもの。 | ④ | 実績 | | 当初見込み | | | | | | | | | |
| 事業概要 | 【支援対象者】 自ら居住するため、県内に住宅を新築又は購入し、住民登録されている方、かつ、所得が1,200万円以下である方 【対象住宅】「やまがた省エネ健康住宅」の認証および一定量の県産木材を使用する住宅 【施工者】県内に本店または事業所を有する事業所 【補助金額】定額50万円 【募集戸数】280戸 【最終受益者】住宅を新築する県民 平成14年度より住宅新築に対する支援を利子補給形式で実施してきたが、事務負担が大きいこと、また県民（申請者）にとっても手続きが多く煩雑であることから、令和5年度より一括補助形式に見直した。 | 成果指標設定の考え方 | | | | | | | | | | | | |
| 補助概要 | 補助率 (最終受益者に対する補助率) | 県の裁量の有無 | 補助の相手方 | 執行率50%未満の場合の要因分析 | | | | | | | | | | |
| | 定額 | ○ | 住宅を新築する県民 | | | | | | | | | | | |
| | | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | | | | | | | | |
| | 当初予算額 (単位:千円) | 6,560 | 6,559 | 140,000 | 140,000 | 140,000 | | | | | | | | |
| 財源内訳 (単位:千円) | 国庫支出金 | | | | | | | | | | | | | |
| | 県債 | | | | | | | | | | | | | |
| | その他特定財源 | | | | | | | | | | | | | |
| | 一般財源 | 6,560 | 6,559 | 140,000 | 140,000 | 140,000 | | | | | | | | |
| | 計 | 6,560 | 6,559 | 140,000 | 140,000 | 140,000 | | | | | | | | |
| | 決算額 (千円単位) | 6,900 | 4,591 | 107,100 | 137,900 | - | | | | | | | | |
| | 執行率 (%) | 105% | 70% | 77% | 99% | #VALUE! | | | | | | | | |

事業所管部局による評価・検証（令和7年度9月末まで）

| 項目 | 評価 (ABC) | 評価に関する説明 | 課題 | 今後の対応 |
|---------------|--|---|----|-------|
| 全ての事務の視点事業の検証 | ①長く継続し、社会経済情勢の変化とミスマッチになってないか。 (開始時から社会経済情勢の変化を考慮して、継続するのは妥当か。) | A 平成14年度の事業開始以来、社会経済情勢の変化に対応し、県産木材多様型、融雪型、移住促進型など要件を柔軟に見直してきた。令和5年度からはカーボンニュートラル実現に向かって、「やまがた省エネ健康住宅」を要件として事業全体を見直している。 | | |
| | ②当初の目的や役割を一定程度達成しているのではないか。 (当初の目的・役割の達成程度からみて、継続するのは妥当か。) | A 当初の目的である「人口減少対策」および「住宅需要喚起対策」は現在も変わっておらず、社会経済情勢の変化に応じて支援要件を柔軟に見直している。近年の住宅価格の高騰など課題があるものの、本事業は住宅需要の下支えとして機能しており、今後も重要な役割を担っていくと考えている。 | | |
| | ③人口減少を受けて受益者が減少し、コストに見合っていないのではないか。 (開始時から受益者が減少しても、継続するのは妥当か。) | A 核家族化や世帯分離など世帯構成の変化により世帯数は増加しており、住宅支援の需要は依然として高い。R6年度には直接効果の1.37倍に相当する経済波及効果が得られており、事業の波及効果も十分に確認されている。 | | |
| 検証点の取組イントマ | ④課題に対する事業手法は妥当か。 | A 住宅取得者が県内事業者を選ぶ際の大きなインセンティブとなっており、地域工務店の営業ツールとしても機能している。認証件数も着実に増加していることから、県内事業者の経営安定と技術力向上を支えている状況。 | | |
| | ⑤成果指標と目標値の考え方は妥当か。 | A 事業の目的・役割を踏まえ、地域の実情や社会情勢の変化を考慮して成果指標と目標値を設定している。現在は「カーボンニュートラルやまがたアクションプラン」の達成に向けて、事業効果の最大化を図っており、今後も状況の変化に応じて適宜見直す方針である。 | | |
| | ⑥「執行率が50%未満の場合の要因分析」の内容・手法は妥当か。 | - | | |

(評価基準)「A:妥当性が高い/B:おおむね妥当である/C:妥当性が低い」

【事業名】良質住宅ストック形成推進事業費

【グループ名】住宅新築支援

1 制度の目的

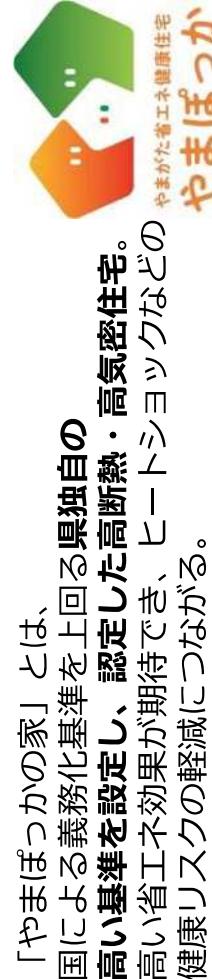
- 省エネ効果が高く、ヒートショックによる事故や各種疾患の防止にもつながる一定の高気密・高断熱性能を有する住宅を「やまがた省エネ健康住宅」として認証し支援することと、高気密・高断熱の住宅の普及及び県産木材の普及を図り、カーボンニュートラル社会実現を図る。

2 補助概要

県産木材を一定程度使用した「やまばっかの家」（やまがた省エネ健康住宅）を新築または購入する方に支援を行う。

「やまばっかの家」認定制度

「やまばっかの家」とは、
国による義務化基準を上回る県独自の
高い基準を設定し、認定した高断熱・高気密住宅。
高い省エネ効果が期待でき、ヒートショックなどの
健康リスクの軽減につながる。



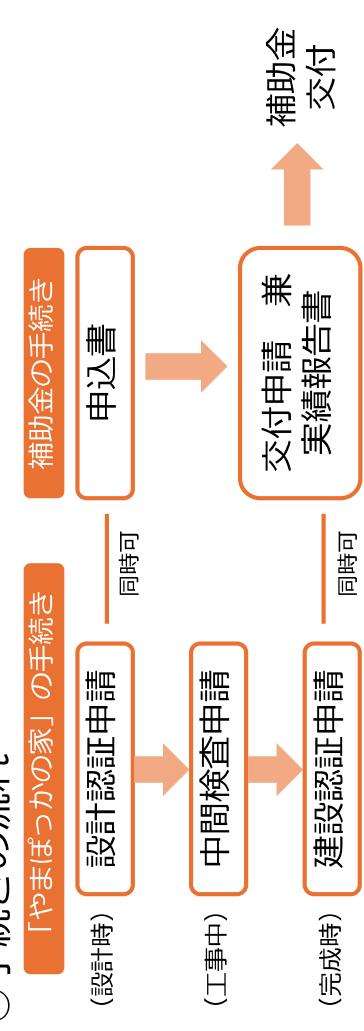
| 国基準 やまばっか 基準 | 断熱等級 Y-G3 (等級7) 高性能 | 断熱性能 (UA値) 0.23 | 気密性能 (C値) 1.0以下 | 暖房費 削減率 約70%減 |
|--------------------|----------------------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|
| やまばっか 基準 | Y-G2 (等級6) | 0.34 | | 約50%減 |
| | Y-G1 | 0.46 | | 約35%減 |
| | ZEH基準 (等級5) 義務化基準 (等級4) | 0.60 0.75 | 規定なし 規定なし | 約20%減 〈基準〉 |

※ UA値が小さいほど熱が逃げにくく、C値が小さいほど建物の隙間が少ないので、

○補助内容（R7年度）

| | |
|-------|--|
| 補助対象者 | ○自ら居住するため、県内に住宅を新築又は購入し、 住民登録されている方 |
| | ○所得が1,200万円以下である方 |
| 対象住宅 | ○「やまばっかの家」の認定証交付 ○県産木材使用割合50%※以上 |
| 募集戸数 | 280戸 |
| 補助金額 | 50万円（定額） |

※ 県産木材使用割合50%：延べ床面積 (m^2) × 0.1 (m^2/m^3) × 0.5



■住宅新築支援補助事業の実績

| | 年度 | 募集戸数 | 申込戸数 | 実績戸数 | (内訳) 住宅タイプ | | | | |
|--------|-----|-------|-------|-------|------------|-----------|-------|-------|--------------|
| | | | | | 県産木材多用型 | やまがた健康住宅型 | 耐震建替型 | 移住促進型 | 子育て支援型 近居 |
| 利子補給形式 | H31 | 270 戸 | 212 戸 | 195 戸 | 44 戸 | 38 戸 | 5 戸 | 0 戸 | 15 戸 |
| | R2 | 270 戸 | 268 戸 | 229 戸 | 58 戸 | 48 戸 | 1 戸 | 16 戸 | 20 戸 |
| | R3 | 270 戸 | 273 戸 | 254 戸 | 194 戸 | 60 戸 | | 14 戸 | 72 戸 |
| 一括補助形式 | R4 | 230 戸 | 240 戸 | 211 戸 | 157 戸 | 54 戸 | | | |
| | R5 | 200 戸 | 153 戸 | 153 戸 | 153 戸 | 153 戸 | | | |
| | R6 | 200 戸 | 200 戸 | 197 戸 | 197 戸 | 197 戸 | | | |

※ ローン審査落ちや、完成遅れなどの理由で例年辞退者あり

